



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 株式会社ビーアールホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1726 URL https://www.brhd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 公康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 天津 武史 TEL 082-261-2860
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,780	31.5	407	504.7	399	481.8	212	—
2019年3月期第2四半期	10,481	△5.6	67	△91.2	68	△91.1	7	△98.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 176百万円 (289.6%) 2019年3月期第2四半期 45百万円 (△90.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	5.41	5.35
2019年3月期第2四半期	0.20	0.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	27,365	6,331	22.8	157.66
2019年3月期	23,017	6,261	26.6	156.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,228百万円 2019年3月期 6,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2020年3月期	—	4.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	24.4	1,750	26.2	1,700	20.1	1,050	41.6	26.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	39,700,000株	2019年3月期	39,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	195,796株	2019年3月期	475,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	39,360,814株	2019年3月期2Q	39,058,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間および第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度および前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用及び所得環境の改善などを背景に底堅く推移しましたが、海外での保護主義的な通商政策による貿易摩擦や金融資本市場の変動の影響等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である建設業界においては、政府及び民間建設投資が堅調に推移しておりますが、受注競争の激化や技術者の不足に加え労務費・資材費の上昇傾向が続くなど、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

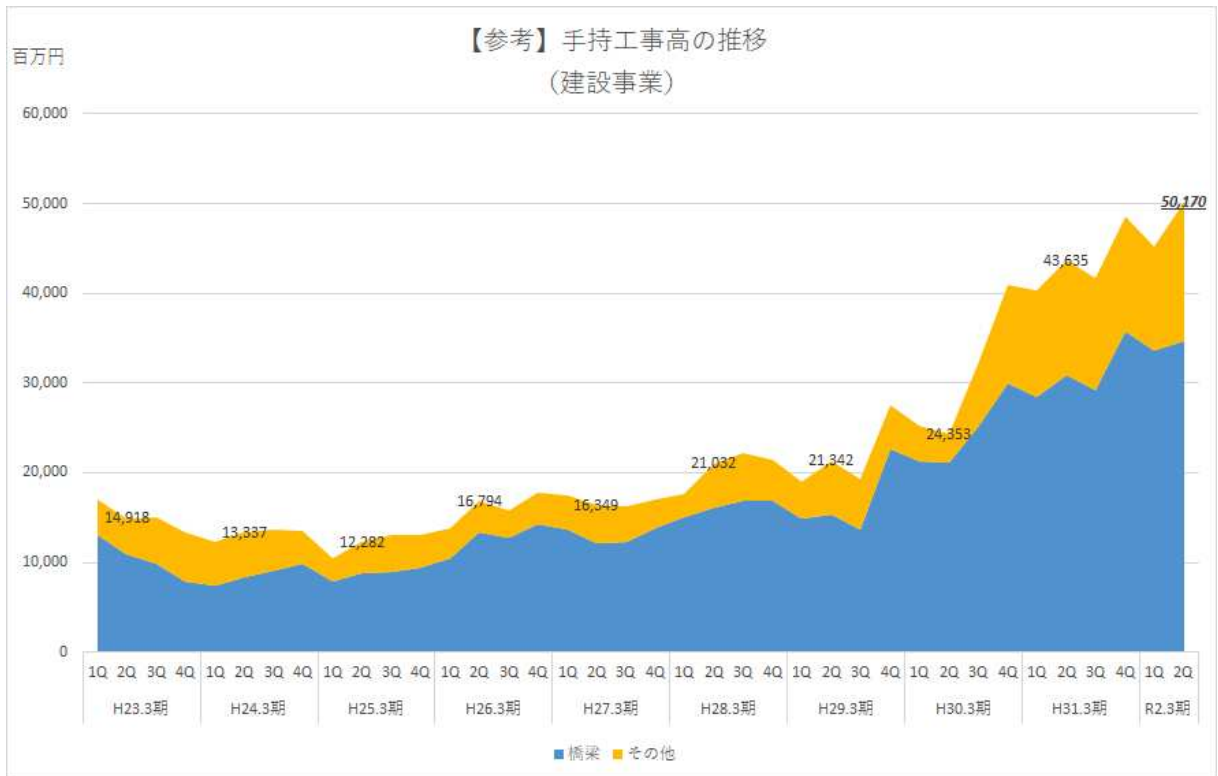
このような情勢の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,780百万円（前年同期比31.5%増）、営業利益は407百万円（前年同期比504.7%増）、経常利益は399百万円（前年同期比481.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は212百万円（前年同期 7百万円）となりました。

なお、当社グループは、通常の営業の形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、経営成績に季節的変動があります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、金額にはセグメント間取引を含めております。

(建設事業)

建設事業におきましては、国土交通省の橋梁新設工事、阪神高速道路のPC桁等大規模修繕工事等により、当第2四半期連結累計期間の受注高は13,719百万円（前年同期比13.7%増）となり、手持工事高は50,170百万円（前年同期比15.0%増）となりました。一方、前期からの繰越大型工事の進捗が伸び、売上高は12,063百万円（前年同期比28.8%増）、セグメント利益は1,031百万円（前年同期比41.3%増）となりました。



(製品販売事業)

製品販売事業におきましては、PCマクラギの需要増加から当第2四半期連結累計期間の受注高は1,857百万円（前年同期比39.8%増）となりました。また、建築用PC製品の出荷の伸びから売上高は1,639百万円（前年同期比64.5%増）となりましたが、固定費の回収が進まずセグメント損失は103百万円（前年同期 セグメント損失99百万円）となりました。

(情報システム事業)

情報システム事業におきましては、当社グループ外の請負開発が増加したことにより当第2四半期連結累計期間の売上高は185百万円（前年同期比6.7%増）となったものの、採算性の高い案件が減少したことからセグメント損失は5百万円（前年同期 セグメント損失25百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、事務所賃貸ならびに一般店舗・住宅の賃貸管理のほか、グループ会社の拠点として、当社が一括して賃借した事務所を各グループ会社に賃貸しており、安定

した売上高を計上しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は89百万円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益は前年同期と同水準の55百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は27,365百万円となり、前連結会計年度末比4,347百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が1,659百万円、未収入金が347百万円、未成工事支出金が952百万円、商品及び製品が466百万円、有形固定資産が297百万円増加したことによるものであります。

有利子負債は手持工事高の増加により3,284百万円増加し、8,711百万円となりました。

純資産は、株主配当金156百万円の支払い、及びその他有価証券評価差額金の減少36百万円があったものの、資本剰余金の増加62百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益212百万円等により、前連結会計年度末比69百万円増加の6,331百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動及び投資活動による資金の使用、財務活動による資金の獲得により、前連結会計年度末に比べ156百万円増加し、2,389百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は2,285百万円（前年同期は527百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が399百万円、未成工事受入金が増加1,200百万円があったものの、売上債権の増加1,659百万円、未成工事支出金の増加952百万円、たな卸資産の増加538百万円、未収入金の増加396百万円、法人税等の支払327百万円等により資金が減少したためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は685百万円（前年同期は444百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入により260百万円、有形固定資産の取得により419百万円等の支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は3,128百万円（前年同期は660百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済により614百万円、配当金の支払により156百万円の支払いはあったものの、短期借入金の純増加2,900百万円、長期借入れにより1,000百万円等の収入があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,812	3,229
受取手形・完成工事未収入金等	9,926	11,585
未成工事支出金	3,145	4,098
商品及び製品	1,238	1,704
仕掛品	132	184
材料貯蔵品	110	131
未収入金	310	657
その他	26	171
流動資産合計	17,703	21,763
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,635	2,146
土地	2,081	2,081
その他（純額）	790	576
有形固定資産合計	4,508	4,805
無形固定資産	91	84
投資その他の資産		
投資有価証券	518	466
繰延税金資産	61	116
その他	161	155
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	714	711
固定資産合計	5,314	5,601
資産合計	23,017	27,365

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,706	3,759
電子記録債務	2,621	2,328
短期借入金	2,400	5,300
1年内返済予定の長期借入金	975	661
未払法人税等	269	167
未成工事受入金	3,541	4,741
賞与引当金	—	141
工事損失引当金	45	44
完成工事補償引当金	45	35
その他	1,002	996
流動負債合計	14,608	18,175
固定負債		
長期借入金	2,050	2,750
その他	97	108
固定負債合計	2,147	2,858
負債合計	16,756	21,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,317	1,317
資本剰余金	889	951
利益剰余金	3,792	3,848
自己株式	△30	△12
株主資本合計	5,968	6,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	123
その他の包括利益累計額合計	160	123
新株予約権	133	103
純資産合計	6,261	6,331
負債純資産合計	23,017	27,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,481	13,780
売上原価	9,221	12,208
売上総利益	1,260	1,571
販売費及び一般管理費	1,193	1,164
営業利益	67	407
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	3
スクラップ売却益	12	8
その他	9	12
営業外収益合計	26	24
営業外費用		
支払利息	10	14
工事保証料	12	14
その他	2	3
営業外費用合計	25	32
経常利益	68	399
税金等調整前四半期純利益	68	399
法人税、住民税及び事業税	102	226
法人税等調整額	△41	△39
法人税等合計	60	187
四半期純利益	7	212
親会社株主に帰属する四半期純利益	7	212

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	7	212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△36
その他の包括利益合計	37	△36
四半期包括利益	45	176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	45	176
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	68	399
減価償却費	140	156
株式報酬費用	100	49
賞与引当金の増減額 (△は減少)	134	141
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△139	△1
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△0	△10
受取利息及び受取配当金	△4	△3
支払利息	10	14
売上債権の増減額 (△は増加)	833	△1,659
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△640	△952
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△533	△538
未収入金の増減額 (△は増加)	△47	△396
仕入債務の増減額 (△は減少)	490	△239
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	574	1,200
その他	△121	△105
小計	863	△1,945
利息及び配当金の受取額	4	3
利息の支払額	△8	△16
法人税等の支払額	△331	△327
営業活動によるキャッシュ・フロー	527	△2,285
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△120	△260
有形固定資産の取得による支出	△312	△419
無形固定資産の取得による支出	△13	△7
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	2	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△444	△685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△125	2,900
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△417	△614
ストックオプションの行使による収入	0	0
配当金の支払額	△115	△156
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△660	3,128
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△576	156
現金及び現金同等物の期首残高	3,609	2,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,032	2,389

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(賞与引当金の計上基準)

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

なお、連結会計年度末においては、連結会計年度末までの支給対象期間に対応する賞与は、確定賞与として処理することとなっているため発生いたしません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	9,363	989	105	23	10,481	—	10,481
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	7	68	68	144	△144	—
計	9,363	996	173	92	10,626	△144	10,481
セグメント利益又は損失(△)	730	△99	△25	55	660	△593	67

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△593百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△589百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	12,063	1,567	126	23	13,780	—	13,780
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	72	58	65	196	△196	—
計	12,063	1,639	185	89	13,977	△196	13,780
セグメント利益又は損失(△)	1,031	△103	△5	55	978	△570	407

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△570百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△570百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	製品生産重量 (t)	前年同期比 (%)
建設事業	19,751	115.6
製品販売事業	29,342	151.8
合計	49,093	134.8

(注) 当社グループの生産実績は、工場製品の製造における製品生産重量をもって実績としております。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)
建設事業	13,719	113.7
製品販売事業	1,857	139.8
情報システム事業	221	101.3
不動産賃貸事業	89	96.8
合計	15,887	115.9

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
建設事業	12,063	128.8
製品販売事業	1,567	158.4
情報システム事業	126	120.6
不動産賃貸事業	23	99.0
合計	13,780	131.5

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先の販売実績と総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
鉄道建設・運輸施設整備支援機構	1,142	10.9	2,740	19.9
高速道路会社	—	—	2,421	17.6
宮城県	2,187	20.9	1,429	10.4
国土交通省	1,594	15.2	—	—

なお、前第2四半期連結累計期間の「高速道路会社」、当第2四半期連結累計期間の「国土交通省」は、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。

3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。